

## 授業科目 臨床実習 II (評価)

【担当教員名】 橋 淳裕、菅原 和広 他		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	180
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 臨床において理学療法の対象者（患者、障害者）に接する場合の基本的な態度を理解し実践する。また、学内で学習した知識や技術を対象者の評価に応用し、将来理学療法士となるための資質を磨く。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 臨床における理学療法の対象者に検査測定および評価を行う。 2. 臨床に関わる他部門の職種等から対象者に関する情報を収集し総合的な評価に役立てる 3. 検査測定においてより信頼性の高い方法に熟練する。 4. 対象者に応じて選択した検査測定項目の妥当性を検証する。 5. 検査測定結果を適切に記録し、他の情報と合わせて対象者の全体像をまとめ、理学療法の重点課題を解釈し記述する。 6. 対象者の特徴を考慮して、問題点を抽出し、治療の目標と方針、理学療法プログラムを立案する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	実習前オリエンテーション			全	説明、身だしなみチェック 担当教員
2	臨床実習（病院・施設）			全	臨床実習指導者および学科教員
3	実習後セミナー			全	発表、討論 学科教員
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特に定めない。			
参考書		特に定めない			
その他の資料		臨床実習の手引き			
【評価方法】 臨床実習指導者による一次判定、実習後の提出物とセミナーを理学療法ゼミ I 担当教員が評価する二次判定、学科会議による総合判定により評価する。			【履修上の留意点】 病院・施設での臨床実習中は、臨床実習指導者の指示に従うこと。詳細は『臨床実習の手引き』を参照のこと。		